

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 4. 1

下水道機構の『新技術情報』 第374号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

本日、新たな元号が発表されました！

新しい元号は「令和（れいわ）」になりました。頭文字は「R」になるようです。

出典は「万葉集」で確認できる限り国書から採用されたのは初めてだそうです。

万葉集の梅の花の歌「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」から引用したものだそうです。

素晴らしい歴史となるよう微力ながら努力してきましたと思います！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第374号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・人事異動がありました

■機構の動き

- ・今週はありません

■Tea Break

- ・花粉症よ、さよーなら（Mリーガーばんざいさんからの投稿です）

■研究成果のおさらい

- ・井芹川第9排水区浸水対策施設の水理現象に関する研究
- ・降雨情報と実測水位に基づく管きよ内水位把握システムに関する共同研究

■ピックアップ！機構情報

- ・講演ダイジェスト

第375回技術サロン

（川崎市下水道事業の最新動向 ～アセットマネジメントシステムの構築～）

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・3/29付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション（最新の話題です）

●3/31付で人事異動がありました

【転出】※（ ）内は、転出先

企画部

副部長兼企画課長兼事業課長 後藤 正寛(川崎市)

技術評価部 審査調査員 谷川 雄哉(中日本建設コンサルタント(株))
研究第一部 部長 白崎 亮(国土交通省)
主任研究員 下池 誠(三機工業(株))
研究員 鈴木 一弘((株)神鋼環境ソリューション)
研究第二部 部長 板屋 芳治(東京都)
総括主任研究員 田代 博紀(静岡県)
研究員 西坂 浩章(積水化学工業(株))
資源循環研究部 研究員 山科 健一((株)石垣)

●4/1 付で人事異動がありました

【転入】※()内は、前職

企画部 副部長兼企画課長兼事業課長 羽嶋 南州(川崎市)
技術評価部 主任審査調査員 山本 健晴(中日本建設コンサルタント(株))
研究第一部 部長 小川 文章(大臣官房付)
研究員 海鋒 充(三機工業(株))
研究員 奥 友晃((株)神鋼環境ソリューション)
研究第二部 部長 北村 隆光(東京都)
総括主任研究員 大村 宏幸(ゼニス羽田(株))
研究員 北岡 豊(積水化学工業(株))
研究員 伊藤 優一(京都市)
資源循環研究部 研究員 石川 聖人((株)石垣)

【内部異動】※()内は、前職

研究第一部 研究員 野入 菜摘(研究第二部 研究員)
資源循環研究部 上席研究員 石田 貴(資源循環研究部 部長)

【昇任】※()内は前職

研究第二部 副部長 岩本 直登(研究第二部 総括主任研究員)
資源循環研究部 部長 落 修一(資源循環研究部 副部長)
総括主任研究員 星野 正明(資源循環研究部 主任研究員)

。。。。

機構の動き (機構の行事予定です)

。。。

○第 380 回技術サロンを開催します！

日 時：平成 31 年 4 月 11 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：東京都下水道局 流域下水道本部 技術部 施設管理課長 竹俣 政則 氏

テーマ：東京都におけるエネルギー・温暖化対策の取組

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon380>

○平成 31 年度の審査証明受付期間について

下水道機構が行う建設技術審査証明事業(下水道事業)では、民間企業において研究開発された下水道に係わる技術を対象に審査を行い、その性能、特長等を客観的に証明しています。証明書が交付されたそれぞれの技術は、「報告書」や「技術概要書」等が作成され、全国の地方公共団体等に配布し、公共事業で技術導入の際の判断資料として広く活用されております。

審査証明事業の受付期間：2019年4月1日（月）～4月26日（金）

なお、審査証明を依頼するにあたって、必要書類ならびに使用実績や性能確認試験についての内容等については、当機構 Web をご覧いただくか、当機構の技術評価部までご相談ください。

◎ 問合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構 技術評価部

TEL:03-5228-6599 e-mail:shinsashoumei@jiwet.or.jp

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●花粉症よ、さよーなら（Mリーガーばんざいさんからの投稿です）

ようやくスギ花粉のピークも過ぎ、薬（内服・目薬・点鼻）なしでも熟睡できる時期がきました。2月下旬は意外と症状もなく、機構に来たことで体質改善されたのか思っていました。3月上旬にマスクなしでのゴルフに果敢に挑戦したことで、例年になくひどい症状に見舞われてしまいました（自業自得ですが・・・）。

花粉と言えば、日本の約25%以上の方が発症しているとのことですが、実は海外の方も多くの方が花粉症に悩まれているようです。日本と違い、四季がないため春先のスギやヒノキではないようですが、“ブタクサ（キク科）”や“カモガヤ（イネ科）”により、国民の2~3割もいるそうです。しかし、海外の方（特に欧米人）はマスクをする人が少ないようで、マスクをしていると犯罪者と間違われるケースもあるとのこと。また、人とのコミュニケーションをする上で、口元が見えないことは失礼にあたると思われるようです。

頭では理解はしつつも、会話の最中に鼻水が垂れたり、くしゃみが止まらなくなることに恐怖心を抱く私は、当面マスクなしの生活を卒業することは難しいようです（黒マスクはしませんが・・・）。早く、「花粉症よ、さよーなら」、と言える時代がくることを夢見て、柔らかかティッシュを大量に消費する今日この頃です。

。○○。

研究成果のおさらい （機構の研究成果（要約版）をご紹介します）

。○○。

・井芹川第9排水区浸水対策施設の水利現象に関する研究（熊本市）

本研究は、熊本市の浸水対策重点地区の一つである井芹川第9排水区で整備した浸水対策施設が十分に機能せず、計画降雨よりも小さい雨量で浸水が発生していることについて、水位観測等の基礎調査及び既往設計内容の確認・検証を実施し、浸水原因の推定及び改善策の検討を行いました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-01-ab1>

・降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する共同研究

本研究では、下水道管きょ内の水位をリアルタイムで把握するとともに、降雨レーダー（XRAIN）情報と組合せ、簡易な手法で水位の予測を行うことのできる「管きょ内水位把握システム」を開発するとともに、それら水位情報の浸水対策への活用方法等を検討しました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-01-ab2>

。○○。
ピックアップ！機構情報（下水道機構情報 No. 28 の中から記事をご紹介します）
。○○。

・講演ダイジェスト
第 375 回技術サロン

（川崎市下水道事業の最新動向 ～アセットマネジメントシステムの構築～

峯 健介氏）

川崎市は昭和 6 年に浸水対策事業として下水道の建設に着手し、昭和 36 年には神奈川県下初の本格的な下水処理場として入江崎水処理センターが稼働しました。本市の下水道事業は、大規模地震や豪雨等に対する災害対策、急増する老朽化施設の改築、合流式下水道の改善、高度処理化などのさまざまな取り組みを進めている一方で、企業債残高の縮減など経営改善も求められており、アセットマネジメントによる計画的かつ適切な事業を推進する必要があります。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-04-01-quarterly1>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 15 号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter15>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。
はしわたし（みなさまの情報交流の場です）
。○○。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。
国からの情報
。○○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション（2019. 3. 29 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 堂蘭洋昭

異動に伴い、今回で私からお送りするホットインフォメーションは最後になりました。
2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。
多くの方から読後の感想や励ましの言葉を頂戴し、励みになりました。
心から感謝申し上げます。
新年度からも引き続きご愛読のほどよろしく願いいたします。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○下水道への紙オムツ受入ガイドラインを策定しました！（下水道企画課）

○下水道革新的技術の実証テーマ等を募集します（下水道企画課）

○小規模下水処理場向け高濃度メタン発酵技術実証施設の稼働
（国土技術政策総合研究所下水処理研究室）
～嫌気性消化の導入によりガス化・汚泥減容化を実現～

○OB-DASH 技術情報資料～新技術の導入を検討される皆様へ～
（国交省下水道企画課、国土技術政策総合研究所下水処理研究室）

○下水道への紙オムツ受入ガイドラインを策定しました！（下水道企画課）

国土交通省では、介護や子育ての現場での負担を軽減することを目的に、平成30年1月に「下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会」（座長：森田 弘昭・日本大学生産工学部土木工学科教授）を設置しました。3月には、概ね5年間で実施する検討ロードマップをとりまとめ、現在までロードマップに沿った検討を進めてまいりました。このたび、ロードマップで示した紙オムツ受入のための3つの処理方式のうち「固形物分離タイプ」について、下水道への紙オムツ受入ガイドラインのパブリックコメントを実施し、結果を踏まえ、ガイドラインを策定し、3月29日に公表しましたので、お知らせします。ガイドラインでは、下水道への受入の観点から、固形物分離タイプの紙オムツ処理装置の条件や実証試験を行うための基本的な考え方等を示しています。ガイドラインを受け、平成30～31年度に住宅局の事業において実証試験を行い、平成32年度以降、装置が実用化される見込みです。

※ 検討の詳細は以下の国土交通省HPをご覧ください。ガイドライン本文も以下にて公表します。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000572.htm

※ パブリックコメントの結果の詳細は、電子政府の総合窓口（e-Gov）中「パブリックコメント（結果公示案件一覧）」欄(<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public>)を
ご参照ください。

○下水道革新的技術の実証テーマ等を募集します（下水道企画課）

国土交通省では、平成32年度以降の、下水道革新的技術の開発・普及を促進するため、実証技術等のテーマ提案を募集しています。

また、中長期的な技術開発テーマを併せて募集し、政策的な視点を踏まえて、下水道技術ビジョンやロードマップに反映するとともに、今後の実証テーマ等決定の参考とします。

公募①：「平成 32 年度 B-DASH 実規模実証テーマ」

・直ちに実規模で実証できる段階にある技術

公募②：「平成 32 年度 B-DASH FS 調査テーマ」

・実規模実証の前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行う段階にある技術

公募③：「中長期的な技術開発テーマ」

公募期間：3月28日（木）から4月25日（木）まで

その他詳細は国土交通省下水道部ホームページをご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000627.html

○小規模下水処理場向け高濃度メタン発酵技術実証施設の稼働

（国土技術政策総合研究所下水処理研究室）

～嫌気性消化の導入によりガス化・汚泥減容化を実現～

国総研では、国土交通省が進める B-DASH プロジェクトにおいて、

「小規模下水処理場を対象とした低コスト・省エネルギー型高濃度メタン発酵技術」

の実証研究を長岡市中之島浄化センターにて進めており、その実証施設の運転を開始しました。

実証技術の概要につきましては国総研下水処理研究室のホームページ

<http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/bdash.htm#h30bdash>

からご覧いただけます。

OB-DASH 技術情報資料～新技術の導入を検討される皆様へ～

（国交省下水道企画課、国土技術政策総合研究所下水処理研究室）

このたび、国交省本省および国総研は、B-DASH 技術情報資料を作成し、ホームページ上で公表しました。

<http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/bdash.htm>（国総研下水処理研 HP）

<http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/b-dash.html>（国総研下水研 HP）

本技術情報資料は、新技術の導入検討を考えている方を対象として作成したものであり、これまでに発刊した B-DASH 技術導入ガイドラインのポイントをまとめた資料です。

資料では、技術テーマごとに、適用施設規模、技術分野、適用範囲、導入効果及び導入時の留意点を掲載していますので、担当する施設への導入可能性の判断に役立つものとなっています。

また、技術導入ガイドラインには記載の無かった、主な導入事例や導入団体からのコメントは、他都市の状況を知る貴重な情報になると考えていますので、是非、ご活用ください。

【参考情報】

◆見つけてね！新しいデザインマンホール蓋 <3/18 吹田市部長ブログ>

<http://suitashibuchoblog.seesaa.net/article/464602322.html>

◆下水道事業のコンセッション、ガイドライン改正 太陽光発電やバイオガス発電も
〈3/22 環境ビジネスオンライン〉

<https://www.kankyo-business.jp/news/022197.php>

◆フィリピンの首都で深刻な水不足、インフラ整備の遅れや需要増加で 〈3/25 ブルームバーグ〉

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2019-03-24/PONJHT6JIJU001>

◆小学生が描いたデザイン マンホールのふたに 〈3/26 朝日新聞〉

<https://www.asahi.com/articles/ASM3Q4T40M3QPGJB00P.html>

◆埼玉県下水道局、バイオガスを発電に活用 〈3/27 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042986790X20C19A3L72000/>

◆熊谷 W杯マンホール蓋設置 足元にトライ！ 〈3/27 読売新聞〉

<https://www.yomiuri.co.jp/local/saitama/news/20190326-0YTNT50226/>

◆カンボジア水事業受注 上水道拡張、30億円 北九州市支援のJV 〈3/29 読売新聞〉

<https://www.yomiuri.co.jp/local/fukuoka/news/20190328-0YTNT50074/>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>